

平成26年度

第1回 県政モニターアンケート



長野県

目 次

I	調査の概要	-----	1
II	結果の内容	-----	5
	○「信州あいサポート運動」について		
	問1 「信州あいサポート運動」という言葉の認知度		6
	問2 「あいサポート」のマークの認知度		7
	○県産農産物の認知度・購入意識・食生活について		
	問3 信州オリジナル食材の認知度		8
	問4 長野県産又は地場産の意識		10
	問5 食生活上の実践度		12
	○県職員の姿勢・行動について		
	問6 県職員の県民の期待への対応度		14
	問7 県職員の仕事への取組姿勢		15
III	調査票	-----	16

I 調 査 の 概 要

1 調査の目的・項目

県政の課題について「県政モニターアンケート調査」を実施しました。今回の調査においては下記の3項目について7問を設定しました。

- (1) 信州あいサポート運動についてについて
障がい者に対する理解を深めるために取り組んでいる「信州あいサポート運動」の認知度について調査
- (2) 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について
平成24年度第1回調査（平成24年8月実施）、平成25年度第2回調査（平成25年6月実施）と同一の質問を設定し、この間の変化を把握するために調査
- (3) 県職員の姿勢・行動について
「行政経営理念」（平成24年3月策定）に基づいた改革の進捗状況及び職員の姿勢や行動について、平成24年度第1回調査（平成24年8月実施）、第3回調査（平成25年1月実施）、平成25年度3回調査（平成25年8月実施）と同内容の質問による調査を実施し、その間の変化を把握

2 調査の方法

- (1) 調査地域：長野県全域
- (2) 調査対象：県政モニター 1, 207人
- (3) 調査方法：郵送又はインターネット
- (4) 調査期間：平成26年8月20日（水）から9月1日（月）

3 回収結果

回収数（率） 925人（76.6%）

【回答方法別】 (上段 回答者数：中段 対象者数：下段 割合)

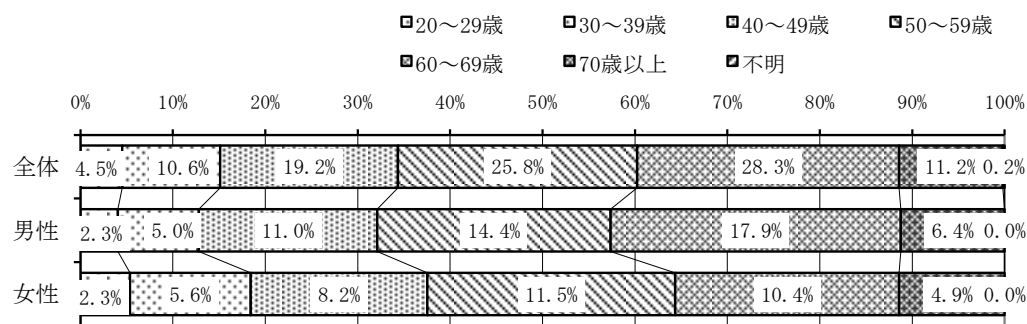
		全体回答率	(回答方法内訳)	
			郵送	インターネット
総数		925	592	333
		1,207	706	501
		76.6%	83.9%	66.5%
	公募	66	17	49
		96	19	77
		68.8%	89.5%	63.6%
無作為		859	575	284
		1,111	687	424
		77.3%	83.7%	67.0%

4 回答状況

【男女別・年代別】 (上段 回答者数：下段 割合)

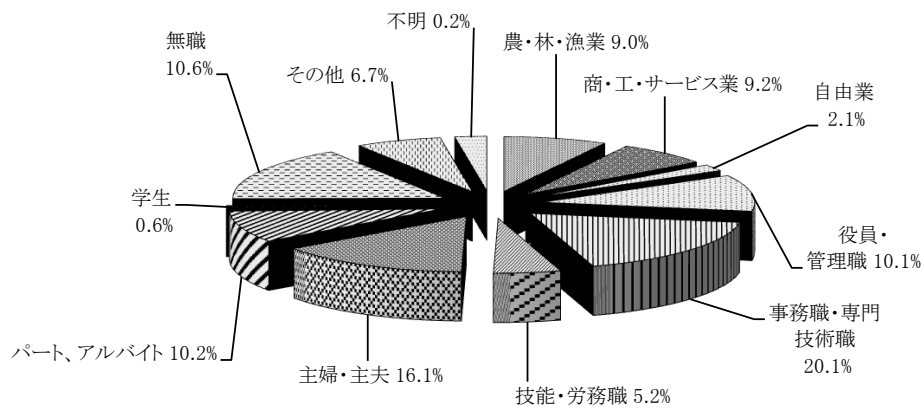
	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	925	42	98	178	239	262	104	2
	100.0%	4.5%	10.6%	19.2%	25.8%	28.3%	11.2%	0.2%
男性	527	21	46	102	133	166	59	-
	57.0%	2.3%	5.0%	11.0%	14.4%	17.9%	6.4%	-
女性	396	21	52	76	106	96	45	-
	42.8%	2.3%	5.6%	8.2%	11.5%	10.4%	4.9%	-
不明	2	-	-	-	-	-	-	2
	0.2%	-	-	-	-	-	-	0.2%

※ 割合(%)はすべて、回答総数(n=925)に対する割合



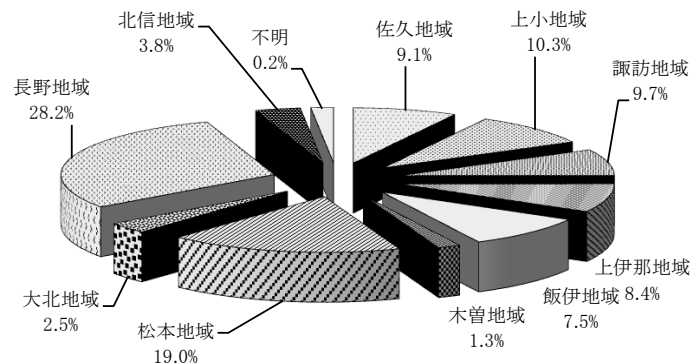
【職業別】

	県政モニター登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
農・林・漁業	100	8.3%	83	9.0%	83.0%
商・工・サービス業	113	9.4%	85	9.2%	75.2%
自由業	28	2.3%	19	2.1%	67.9%
役員・管理職	137	11.4%	93	10.1%	67.9%
事務職・専門技術職	261	21.6%	186	20.1%	71.3%
技能・労務職	69	5.7%	48	5.2%	69.6%
主婦・主夫	174	14.4%	149	16.1%	85.6%
パート、アルバイト	121	10.0%	94	10.2%	77.7%
学生	7	0.6%	6	0.6%	85.7%
無職	109	9.0%	98	10.6%	89.9%
その他	88	7.3%	62	6.7%	70.5%
不明	-	-	2	0.2%	-
合計	1,207	100.0%	925	100.0%	76.6%



【地域別】

	県政モニター 登録者数		回答者数		回答率
	人数	割合	人数	割合	
佐久地域	116	9.6%	84	9.1%	72.4%
上小地域	118	9.8%	95	10.3%	80.5%
諏訪地域	132	10.9%	90	9.7%	68.2%
上伊那地域	103	8.5%	78	8.4%	75.7%
飯伊地域	91	7.5%	69	7.5%	75.8%
木曽地域	14	1.2%	12	1.3%	85.7%
松本地域	234	19.4%	176	19.0%	75.2%
大北地域	32	2.7%	23	2.5%	71.9%
長野地域	323	26.8%	261	28.2%	80.8%
北信地域	44	3.6%	35	3.8%	79.5%
不明	-	-	2	0.2%	-
合計	1,207	100.0%	925	100.0%	76.6%



5 その他

- (1) 調査結果の割合は、百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示している。したがって、割合の合計が100%とならない場合がある。なお、調査の設問には単数回答と複数回答があり、複数回答の場合には割合の合計が100%を上回ることがある。
- (2) 集計結果において、「無回答」とは、当該設問に対する回答（選択）が無いものを示す。
※回答方法が1択の設問に対して、複数選択されているなど、正常な回答として扱えないものも「無回答」とする。
- (3) 「Ⅱ結果の内容」中、設問の表記は、便宜上補足（選択肢の番号など）を加えている場合がある。また、設問の選択肢で文字数が多いものについては、本文や図表中で便宜上短く省略している場合がある。
- (4) 「4 回答状況」で「不明」とあるものは、アンケート回答の際に県政モニターID番号等の記入がなく、回答者の属性（性別、年代等）が不明なものを示している。

Ⅱ 結 果 の 内 容

《「信州あいサポート運動」について》

＜「信州あいサポート運動」の認知度＞

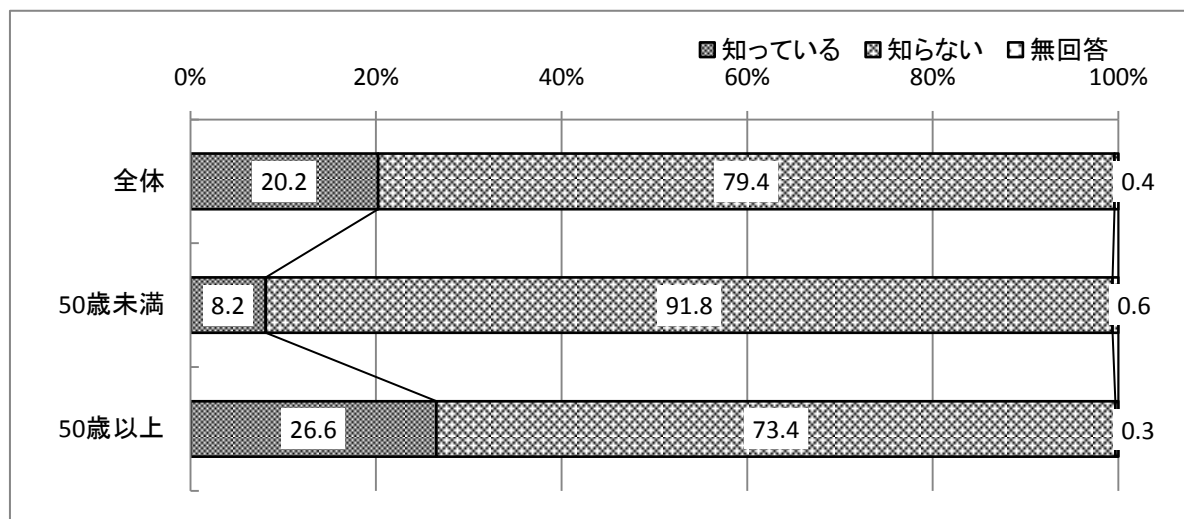
「信州あいサポート運動」という言葉を「知っている」は約2割

「あいサポート」のマークを「見たことがある」は約1割

問1 あなたは、「信州あいサポート運動」(※)という言葉を知っていますか。または、聞いたことがありますか。あてはまるものを選んでください。

	回答数 (人)	割合 (%)
知っている(聞いたことがある)	187	20.2
知らない(聞いたことがない)	734	79.4
無回答	4	0.4

●「信州あいサポート運動」(※)という言葉について「知っている」は 20.2%となっている。年齢別に見ると50歳以上の方の認知度が高い。



※「信州あいサポート運動」

誰もが、多様な障がいの特性、障がいのある方への必要な配慮、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会のあり方などを理解して、障がいのある方に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会(共生社会)を県民の皆様と一緒につくっていく運動です。

＜「信州あいサポート運動」の認知度＞

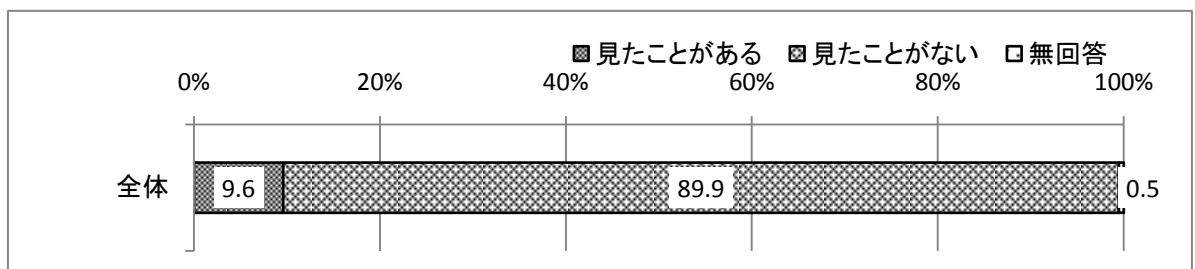
「信州あいサポート運動」という言葉を「知っている」は約2割

「あいサポート」のマークを「見たことがある」は約1割

問2 あなたは、「あいサポート」のマークを見たことがありますか。あてはまるものを選んでください。

	回答数 (人)	割合 (%)
見たことがある	89	9.6
見たことがない	831	89.9
無回答	5	0.5

●「あいサポート」のマークについて「見たことがある」は、9.6%となっている。



「あいサポート」のマーク

【込められた意味】

2つのハートを重ねて、後ろの白いハートで「SUPPORTER(サポーター)」の「S」を表現しています。

ベースとしている「橙色(だいたいいろ)」は、日本の障がい者福祉に尽力された糸賀一雄氏の残した言葉「この子らを世の光に」から「光」や、「暖かさ」をイメージするものとしています。

また、「だいたい(代々)」にちなみ、あいサポーター(障がい者サポーター)が広がって、共生社会が実現されることへの期待も込められています。

《県産農産物の認知度・購入意識・食生活について》

＜信州オリジナル食材等の認知度＞

りんご(シナノスイート・シナノゴールド・秋映)の認知度(知っている・聞いたことがあるを含む)は8割を超えるとともに、前年度から順調に認知度が伸びている。また、「信州サーモン」も9割を超え、(6.5ポイント増)認知度が高い。

また、「おいしい信州ふード(風土)」の認知度は約5割となり前年度から約12ポイントの増加となった。

問3 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。

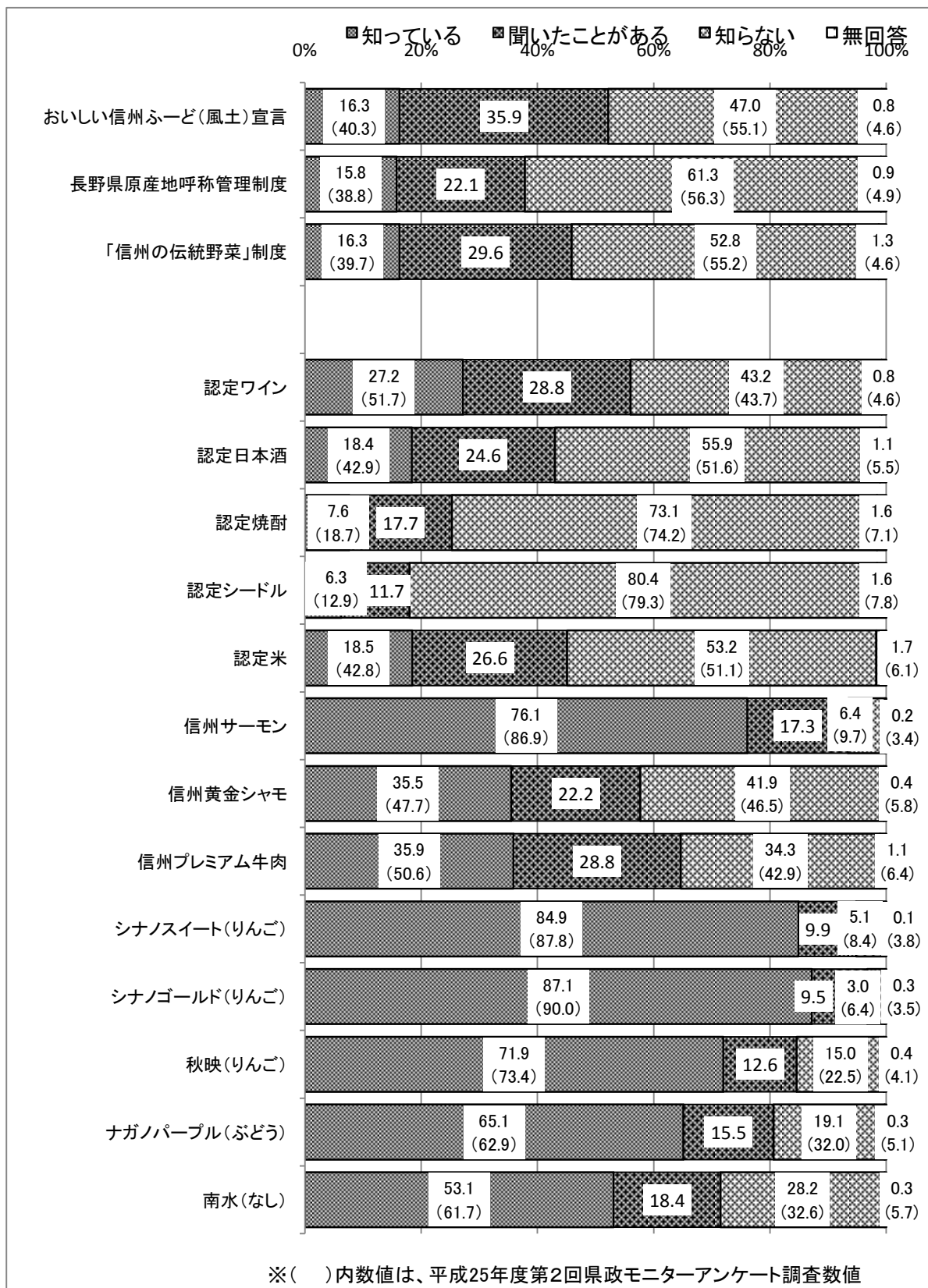
上段:回答者数(人)

下段:割合(%)

n=925 (H25年6月実施=822)

		知っていますか				(参考)H25年度			
		知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	知 ら な い	無 回 答	知っていますか			
						知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答	
◇県が取り組む認定制度について									
①	「おいしい信州ふード(風土)」		151	332	435	7	331	453	38
			16.3	35.9	47.0	0.8	40.3	55.1	4.6
②	長野県原産地呼称管理制度		146	204	567	8	319	463	40
			15.8	22.1	61.3	0.9	38.8	56.3	4.9
③	「信州の伝統野菜」制度		151	274	488	12	326	454	42
			16.3	29.6	52.8	1.3	39.7	55.2	4.6
◇長野県のオリジナル食材について									
①	原 産 地 呼 称 管 理 制 度	認定ワイン	252	266	400	7	425	359	38
			27.2	28.8	43.2	0.8	51.7	43.7	4.6
②		認定日本酒	170	228	517	10	353	424	45
			18.4	24.6	55.9	1.1	42.9	51.6	5.5
③		認定焼酎	70	164	676	15	154	610	58
			7.6	17.7	73.1	1.6	18.7	74.2	7.1
④		認定シードル	58	108	744	15	106	652	64
			6.3	11.7	80.4	1.6	12.9	79.3	7.8
⑤		認定米	171	246	492	16	352	420	50
			18.5	26.6	53.2	1.7	42.8	51.1	6.1
⑥	信州サーモン		704	160	59	2	714	80	28
			76.1	17.3	6.4	0.2	86.9	9.7	3.4
⑦	信州黄金シャモ		328	205	388	4	392	382	48
			35.5	22.2	41.9	0.4	47.7	46.5	5.8
⑧	信州プレミアム牛肉		332	266	317	10	416	353	53
			35.9	28.8	34.3	1.1	50.6	42.9	6.4
⑨	シナノスイート (りんご)		785	92	47	1	722	69	31
			84.9	9.9	5.1	0.1	87.8	8.4	3.8
⑩	シナノゴールド (りんご)		806	88	28	3	740	53	29
			87.1	9.5	3.0	0.3	90.0	6.4	3.5
⑪	秋映 (りんご)		665	117	139	4	603	185	34
			71.9	12.6	15.0	0.4	73.4	22.5	4.1
⑫	ナガノパープル (ぶどう)		602	143	177	3	517	263	42
			65.1	15.5	19.1	0.3	62.9	32.0	5.1
⑬	南水 (なし)		491	170	261	3	507	268	47
			53.1	18.4	28.2	0.3	61.7	32.6	5.7

● 信州オリジナル食材では、「シナノゴールド」(96.6%)、「シナノスイート」(94.8%)とりんごの認知度が高く、「信州サーモン」(93.4%)が続いている。



＜長野県産又は地場産の意識＞

野菜、果物は「常に意識して購入している」、「時々意識して購入している」を合わせた割合が8割に達し、きのこも7割を超えており、前年度に続き高い水準で推移している。

問 4 あなたは、日頃、農産物を購入する際に、「長野県産又は地場産」を意識していますか。
項目ごとにあてはまるものを選んでください。

n=925 (H25年6月実施n=822)

①米	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	434	46.9	439	53.4
時々意識して購入している	202	21.8	145	17.6
意識していない	201	21.7	166	20.2
わからない	51	5.5	21	2.6
無回答	37	4.0	51	6.2

④食肉	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	216	23.4	230	28.0
時々意識して購入している	338	36.5	276	33.6
意識していない	338	36.5	281	34.2
わからない	25	2.7	15	1.8
無回答	8	0.9	20	2.4

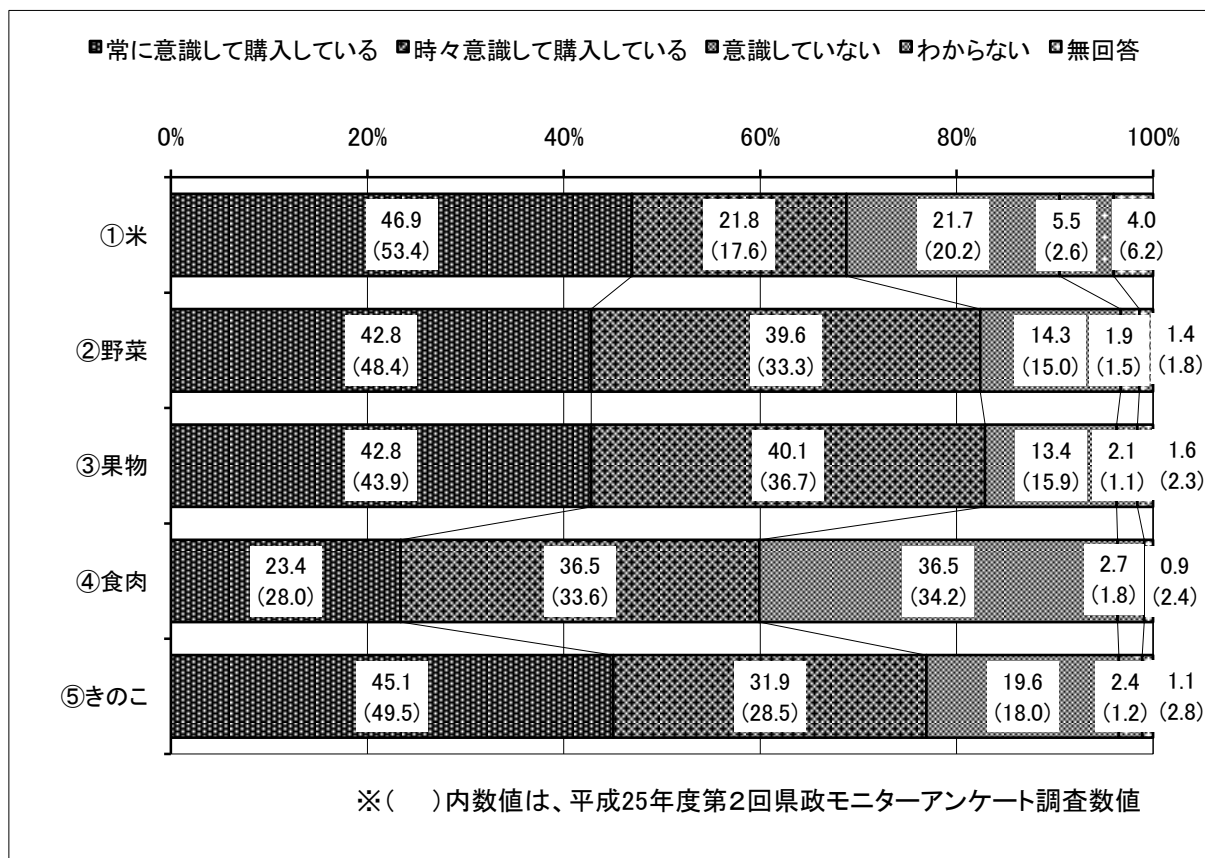
②野菜	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	396	42.8	398	48.4
時々意識して購入している	366	39.6	274	33.3
意識していない	132	14.3	123	15.0
わからない	18	1.9	12	1.5
無回答	13	1.4	15	1.8

⑤きのこ	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	417	45.1	407	49.5
時々意識して購入している	295	31.9	234	28.5
意識していない	181	19.6	148	18.0
わからない	22	2.4	10	1.2
無回答	10	1.1	23	2.8

③果物	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
常に意識して購入している	396	42.8	361	43.9
時々意識して購入している	371	40.1	302	36.7
意識していない	124	13.4	131	15.9
わからない	19	2.1	9	1.1
無回答	15	1.6	19	2.3

【品目別】

●野菜、果物は8割以上が「長野県産又は地場産」を意識して購入している。また、きのこも7割を超えており、総じて農産物購入時における「長野県産又は地場産」の意識度は高い。



＜食生活上の実践度＞

食生活上の実践において、すべての項目で「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者は全体の56.6%(前年度(57.2%)から微減)となっている。
「あまりできていない」又は「まったくできていない」と回答した者は、全体の41.6%(前年度(42.8%)から微減)となっている。

問5 あなたは、日常の食生活についてどの程度実践していますか。

n=925(H25年6月実施n=822)

①食事を楽しむ	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	252	27.2	233	28.3
おおむねできている	527	57.0	462	56.2
あまりできていない	127	13.7	109	13.3
まったくできていない	12	1.3	7	0.9
無回答	7	0.8	11	1.3

②主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	235	25.4	210	25.5
おおむねできている	517	55.9	471	57.3
あまりできていない	155	16.8	123	15.0
まったくできていない	11	1.2	8	1.0
無回答	7	0.8	10	1.2

③ごはんなどの穀類をしっかりとする	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	516	55.8	419	51.0
おおむねできている	327	35.4	329	40.0
あまりできていない	68	7.4	47	5.7
まったくできていない	5	0.5	5	0.6
無回答	9	1.0	22	2.7

④家庭で料理をつくる際に、時々は地元農産物を利用する	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	404	43.7	319	38.8
おおむねできている	384	41.5	364	44.3
あまりできていない	121	13.1	118	14.4
まったくできていない	9	1.0	7	0.9
無回答	7	0.8	14	1.7

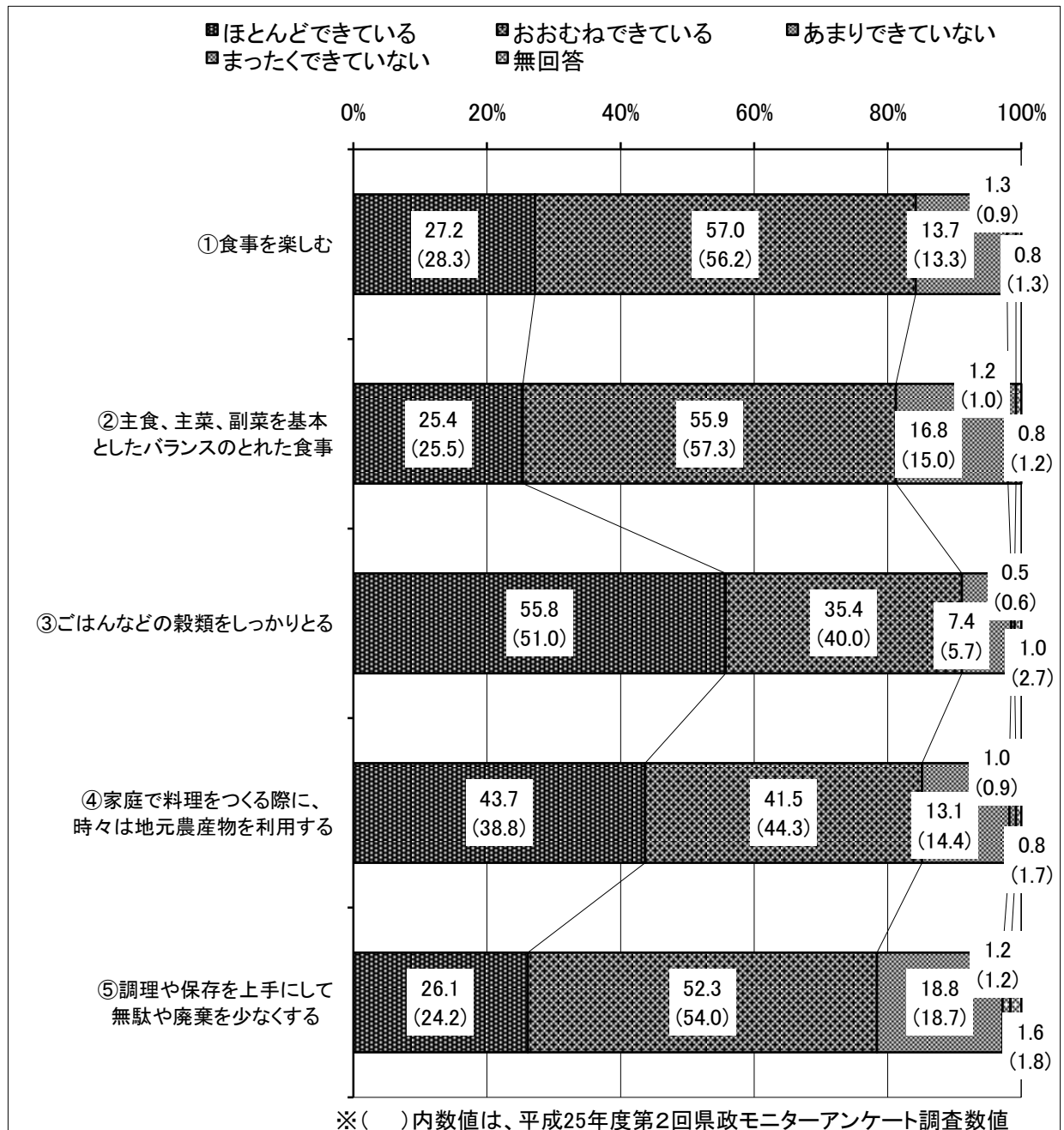
⑤調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
ほとんどできている	241	26.1	199	24.2
おおむねできている	484	52.3	444	54.0
あまりできていない	174	18.8	154	18.7
まったくできていない	11	1.2	10	1.2
無回答	15	1.6	15	1.8

総 合	回答数 (人)	割合 (%)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	割合(%)
①から⑤のすべてが「おおむねできている」又は「ほとんどできている」と回答した者	524	56.6	470	57.2
①から⑤の中に1項目以上「あまりできていない」又は「まったくできていない」と回答した者	385	41.6	352	42.8

【区分別】

●「ごはんなどの穀物をしっかりとる」は9割以上が「できている」と答えている。

また、「家庭で料理をつくる際に時々地元農産物を利用する」「食事を楽しむ」「主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事」の実践についても8割以上が「できている」であり、食生活上の実践度はいずれも高い水準にある。



《県職員の姿勢・行動について》

＜県職員の県民の期待への対応度＞

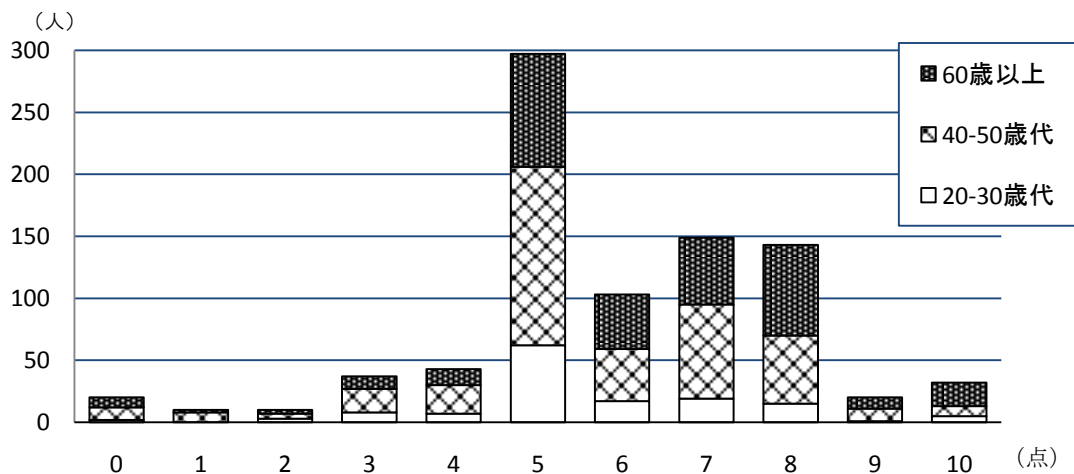
県職員がどの程度県民の期待に応えられているかについての県民評価は5.9点
(前回調査(H25.8実施)における平均点は6.5点)

問6 県の職員は、県民の皆様の期待にどの程度応えられていると思いますか。
(10点満点の点数を記入してください。)

n=925 (H25年8月実施n=827)

年代	回答数 (人)	平均 (点)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	平均(点)
20～30歳代	139	5.6	63	5.8
40～50歳代	399	5.7	289	5.9
60歳以上	326	6.3	369	6.9
全体	864	5.9	721	6.5
無回答	61	—	106	—

●最も多い評価は「5点」。平均点は、60歳以上が最も高く(6.3点)、年代が下がるにつれて低くなっている。



＜県職員の仕事への取組姿勢＞

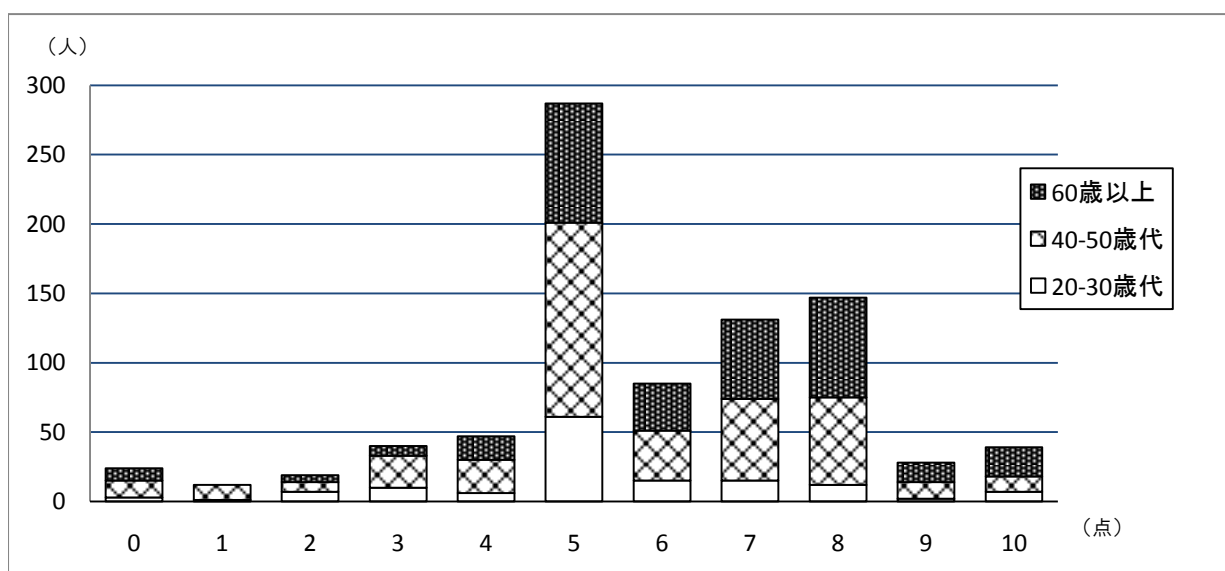
県職員の仕事に対する姿勢についての県民の評価は5.9点
(前回調査(H25.8実施)における平均点は6.4点)

問7 県の職員は、「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいる」と思いますか。
(10点満点の点数を記入してください。)

n=925 (H25年8月実施n=827)

年代	回答数 (人)	平均 (点)	(参考)H25年度	
			回答数(人)	平均(点)
20～30歳代	139	5.4	63	5.5
40～50歳代	398	5.6	284	5.8
60歳以上	322	6.4	367	6.8
全体	859	5.9	714	6.4
無回答	66	—	113	—

●最も多い評価は「5点」。平均点は、60歳以上が最も高く(6.4点)、年代が下がるにつれて低くなっている。



Ⅲ 調 査 票

【県産農産物の認知度・購入意識・食生活について】

※問3から5の質問は、県産農産物の認知度や意識の変化を把握するため、以前実施したアンケート調査（平成24年度第1回（24年8月実施）、平成25年度第2回（25年6月実施））と同内容となっています。

問3 長野県では、県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）

品目等		知っていますか		
		知っている	聞いたことがある	知らない
◇県が取り組む認定制度について				
①	「おいしい信州ふード（風土）」（※1）	1	2	3
②	長野県原産地呼称管理制度（※2）	1	2	3
③	「信州の伝統野菜」制度（※3）	1	2	3
◇長野県のオリジナル食材について				
①	原産地呼称管理制度 認定ワイン	1	2	3
②	認定日本酒	1	2	3
③	認定焼酎	1	2	3
④	認定シードル	1	2	3
⑤	認定米	1	2	3
⑥	信州サーモン	1	2	3
⑦	信州黄金シャモ	1	2	3
⑧	信州プレミアム牛肉	1	2	3
⑨	シナノスイート（りんご）	1	2	3
⑩	シナノゴールド（りんご）	1	2	3
⑪	秋映（りんご）	1	2	3
⑫	ナガノパープル（ぶどう）	1	2	3
⑬	南水（なし）	1	2	3

※1 「おいしい信州ふード（風土）」

信州が育む多様な風土の中から生まれた食べ物全ての中から、3つの基準（「プレミアム（厳選素材・厳選基準）」、「オリジナル（独自ブランド・全国上位）」、「ヘリテイジ（伝統野菜・郷土食）」）で厳選した食べ物を、「おいしい信州ふード（風土）」と称し、長野県の統一ブランドとして発信・定着する取組を行っています。

※2 原産地呼称管理制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

- 認定基準 ①長野県産の原料を使い県内で生産され、
②一定の品質基準を満たし、
③官能審査に合格したもの。

○現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（上記表の5品目）



※3 「信州の伝統野菜」制度

「信州の伝統野菜」の保存と伝承を計るため、品種特性や食文化を調査し、より多くの人に伝えるための制度。

○選定基準：長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」、「食文化」、「品種特性」の3項目について一定の基準を満たしたもの。



問4 あなたは、日頃、農産物を購入する際に「長野県産又は地場産」を意識していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品 目	常に意識して 購入している	時々意識して 購入している	意識していない	わからない
① 米	1	2	3	4
② 野菜	1	2	3	4
③ 果実	1	2	3	4
④ 食肉	1	2	3	4
⑤きのこ	1	2	3	4

問5 あなたは、日常の食生活において、次の項目をどの程度実践していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	ほ ど で き て い る	お お で き て い る	あ ま り で き て い な い	ま つ た く い な い
① 食事を楽しむ	1	2	3	4
② 主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	1	2	3	4
③ ごはんなどの穀類をしっかりとる	1	2	3	4
④ 家庭で料理をつくる際に、時々地元農産物を利用する	1	2	3	4
⑤ 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	1	2	3	4

【県職員の姿勢・行動について】

長野県では、県職員が一丸となって、より良い県政の実現に向けて取り組んでいくため、組織の「使命・目的（ミッション）、目指す姿（ビジョン）、価値観・行動の指針（バリュー）」について、平成24年3月に「行政経営理念」として定めました。

この理念のもと、質の高いサービスを県民の皆様へ提供し続けるため、行政・財政改革に取り組んでいます。そこで、次の2点についてお尋ねします。

※この質問は、県の職員の姿勢・行動の変化を把握するため、以前実施したアンケート調査（平成24年度第1回（24年8月実施）、第3回（25年1月実施）、平成25年度第3回（25年8月実施））と同内容となっています。

問6 県の職員は、県民の皆様の期待にどの程度応えられていると思いますか。
(10点満点の点数を右の口内に記入してください。)

※県の職員（県庁や合同庁舎等に勤務する職員）が期待どおりの行政サービスを提供できているかなどについて、職員全体に対するイメージでお答えください。

(摘要)

10: 完全に期待に応えられている。 ～ 0: 全く期待に応えられていない。

また、上記の点数をつけた具体的な理由があれば記載してください。

理由()

問7 県の職員は、「高い志と仕事への情熱を持って職務に取り組んでいる」と思いますか。
(10点満点の点数を右の口内に記入してください。)

※県の職員（県庁や合同庁舎等に勤務する職員）の窓口・電話対応の仕方や仕事に取り組む姿勢などについて、職員全体に対するイメージでお答えください。

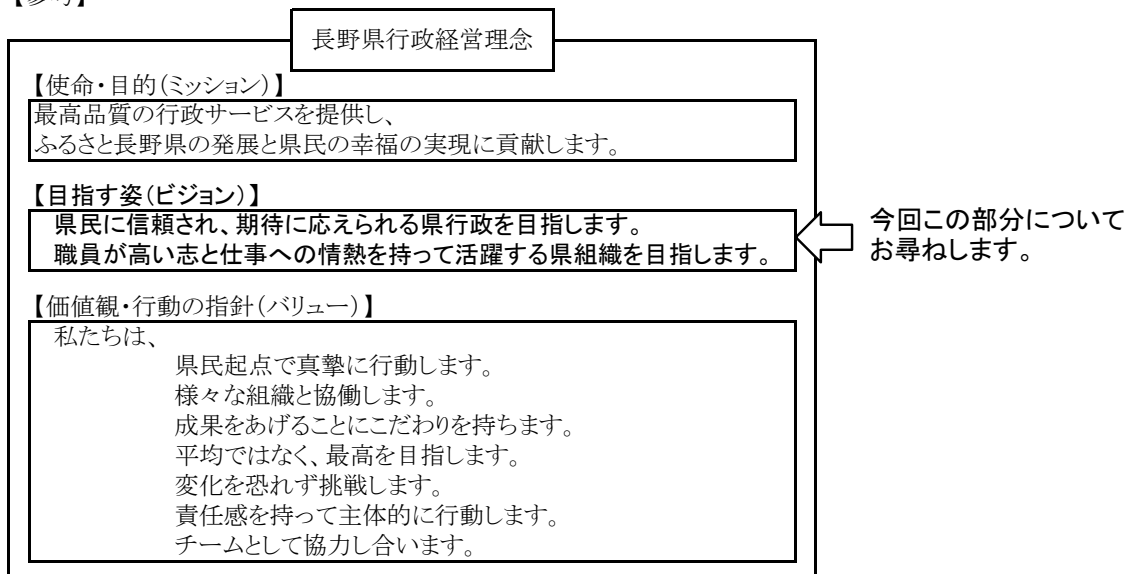
(摘要)

10: 非常に高い志や情熱が感じられる。 ～ 0: 志や情熱が全く感じられない。

また、上記の点数をつけた具体的な理由があれば記載してください。

理由()

【参考】



ありがとうございました。
アンケート調査は以上で終了です。